

2024 年 3 月 1 日

世界の科学技術の未来をリードするイノベティブな企業
「Innovation Momentum 2024: The Global Top 100」に選出

ダイキン工業株式会社は、法務・知財情報サービスの LexisNexis Intellectual Property Solutions（本社：米国・ニューヨーク、以下 LexisNexis 社）が、特許データの分析から世界の科学技術の未来をリードするイノベティブな企業 100 社を表彰する「Innovation Momentum 2024: The Global Top 100」に、このたび選出されました。2022 年に開始され、今年で 3 回目を迎える同アワードにおいて、ダイキンは初めての選出となります。

「Innovation Momentum 2024: The Global Top 100」は、企業が保有する特許の価値に基づいた競争力を評価し、過去 2 年間の特許ポートフォリオの変化における勢い（モメンタム）の強さに沿って上位 100 社を選出するものです。LexisNexis 社が持つ特許評価指標を用い、独自の手法で技術価値の増減とその動きの方向性を算出、企業の技術開発力の勢いを分析しています。日本企業は 5 社のみが選出されており、今回初選出となるダイキンは同社のレポートにおいて、「サステナビリティを重視しており、HVAC&R（暖房・換気・空調および冷凍）のイノベーションで最も有名な企業」と評されています。

グローバルに事業展開する空調メーカーであるダイキンは、業界全体の温室効果ガス削減に寄与すべく、保有する特許の一部について他社の利用を認めています。例えば、低温暖化冷媒 HFC-32（R32）を用いた空調機の特許 93 件を、2011 年に新興国に向けて無償開放し、2015 年からはその範囲を全世界に拡大しました。また、2019 年からは特許の対象を拡大し、それら特許について権利不行使を宣言することにより、省エネ性が高く、地球温暖化係数が低い冷媒への転換を後押ししています。

ダイキンは、戦略経営計画「FUSION25」において成長戦略テーマに掲げる「カーボンニュートラルへの挑戦」「顧客とつながるソリューション事業の推進」「空気価値の創造」等を実現すべく、グローバル規模で研究開発の強化に取り組んでいます。今後も、知的財産権の取得・他社知的財産の侵害回避に加えて、産産・産学の協創による知的財産創出や、特許の無償開放等を通じた仲間づくりにも注力することで、事業に貢献する知的財産活動を推進していきます。

「Innovation Momentum 2024: The Global Top 100」について

<https://www.lexisnexisip.jp/resources/stories/innovation-report-jp/>

【お問い合わせ先】ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室

本社 (06) 6147-9923 / 東京支社 (03) 3520-3100

E-mail: prg@daikin.co.jp